



いろいろな移行期医療を のぞいてみよう!!

小児慢性疾患患者の小児医療から成人医療への移行における課題は広く知られているところです。成人期には、加齢による成人疾患への対処や自律・自立支援が求められるため、小児診療だけで診療を続けることは最適とはいえません。さらに、成人後は健康問題のみならず、医療制度や社会制度が異なり、病院や医療者との関わり方、家族関係も変化します。本講座では、代謝内分泌疾患と腎臓疾患の2領域を中心に、現状の課題と移行支援の工夫を紹介します。また、小児がん治療後の移行支援プログラムの事例を通じて、AYA世代の移行期を包括的に支えるために必要なリソースについて考えます。皆さまと共に移行支援の未来を考える機会となれば幸いです。

2025年

3/11

19:00~20:20

オンライン配信 (zoom)

下記QRコードもしくはURLよりお申し込みください
直前まで申し込み可能です



https://zoom.us/webinar/register/WN_BrmZOvmySzalkgiKQWYH9A

主催：
国立国際医療研究センター病院
がん総合診療センター
問い合わせ：
がん対策戦略室 大樂(だいらく)
03-3202-7181 (代表)

参加費
無料



総合司会
国立国際医療研究センター病院
がん総合診療センター / 総合診療科
谷山 智子

開会のあいさつ

国立国際医療研究センター病院
病院長 宮崎 英世

基調講演

「移行期医療の現在地と今後 (仮)」
国立成育医療研究センター
総合診療部 窪田 満

取り組み紹介

「代謝内分泌領域の移行期医療」
国立国際医療研究センター病院
糖尿病代謝内分泌科 田辺晶代

「腎臓領域の移行期医療」
国立国際医療研究センター病院
腎臓内科 片桐大輔

ディスカッション

モデレーター
国立国際医療研究センター病院
総合診療科 稲垣 剛志

基調講演の講師(窪田医師)をはじめ、移行支援に取り組む専門医(代謝内分泌:田辺医師、腎臓:片桐医師、小児がん:谷山医師)に加えて、小児がん経験者が登壇。多角的な視点から現状と課題、必要な支援について議論します。

閉会のあいさつ

国立国際医療研究センター病院
がん総合診療センター長 清水 千佳子